【実施区域・面積】

福岡県、　10.4ha

【生態系タイプ】

里山林、二次草原・草地

水田、畑・果樹園・牧草地、創出緑地

【実施区域の状況】

・「ゼロからの森づくり」をテーマに、当初何も無かった造成地に“20年かけて苗木を植え50年かけて森を創る”をスローガンに掲げ、市民協働にこだわった森づくり・里づくりを展開。

【目標】

・地域の自然特性に沿った生物多様性の息づく森を創造し、その過程の中でひと自然の関わりについて実感できる場とすることを目的。森づくり以外にも、水辺環境を活かした保全活動や、里地での野菜作り・収穫、各種イベント開催など、環境学習の重要拠点としても活動。

【主な活動内容】

・育ちの森：植樹・除草・枝打ち・間伐等の多様な森づくり活動を市民協働で実施。

・みのりの里：農作業体験とともに里地景観を創出。

・いのちの池：水辺の生きもののすみかとなるため池として機能するよう、侵略的外来生物の駆除。

【モニタリング計画】

生物調査は、哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・昆虫類・植物を対象とする。

・①育ちの森:植樹地及び未植樹地を含む全域　②みのりの里:ビオトープ及び周辺地

　③いのちの池:池及び水田エリア　④防ぎの森:園路沿い等で実施。

・哺乳類を目視、鳥類を目視・鳴き声確認、その他（爬虫類・両生類・昆虫類・植物）は直接観察。

・基本的に年間100日以上に及ぶ保全・利用活動時に、目視調査を毎月実施。

【実施体制】

・マリンワールドと管理センターの職員を中心とした目視調査を毎月実施。

・同定や分析の助言は有識者(福岡県保健環境研究所中島専門研究員)に依頼。









【計画期間】

令和7年9月～令和12年8月